

## 書籍

著者氏名	論文タイトル名	書籍全体の編集者名	書籍名	出版社名	出版地	出版年	ページ
山内豊明	クリティカルパスを生んだアメリカの背景とパスの実例、そして今後の課題		疾患別クリティカルパスと看護記録 下巻	日総研	名古屋	2002	175-187
山内豊明	クリティカルパスの現状と展望		クリティカルパス実践セミナーテキスト	株式会社じほう	東京	2003	19-24
山内豊明	臨床医学における総合医療チームワーク		ダイナミックメディシン1	西村書店	新潟	2003	12-24
山内豊明	看護における問題解決の方法論		ダイナミックメディシン2	西村書店	新潟	2003	16-20
山内豊明	アセスメントにおける看護必要度の考え方	岩澤和子・筒井孝子監修	看護必要度 看護サービスの新たな評価基準	日本看護協会出版会	東京	2003	21-36
山内豊明		北徹(監訳)	高齢者のヘルスアセスメントー自立生活支援への評価と解釈	西村書店		2004	
山内豊明	なぜ看護職を選んだか		看護とはどんな仕事かー7人のトップ・ランナーたち	勁草書房	東京	2004	107-127
山内豊明	紀元1924～1944年		微生物学の歴史Ⅱ	朝倉書店	東京	2004	
山内豊明	クリティカルパスの背景		歯科口腔領域のクリニカルパス	医歯薬出版株式会社	東京	2004	39-42
山内豊明	クリティカルパスとは何かそして開発導入に当たってのポイントは		歯科口腔領域のクリニカルパス	医歯薬出版株式会社	東京	2004	43-45
山内豊明	クリティカルパスに関連したわが国の事情と今後の課題		歯科口腔領域のクリニカルパス	医歯薬出版株式会社	東京	2004	46-48
山内豊明	はじめに		ナーシンググラフィカ③疾病の成り立ちー臨床病理・病態学	メディカ出版	大阪	2004	
山内豊明	人間の身体における本来の働きとその乱れ		ナーシンググラフィカ③疾病の成り立ちー臨床病理・病態学	メディカ出版	大阪	2004	2-6
山内豊明、三笠里香	血行障害		ナーシンググラフィカ③疾病の成り立ちー臨床病理・病態学	メディカ出版	大阪	2004	25-33
山内豊明	身体の不調はどう現れるか		ナーシンググラフィカ③疾病の成り立ちー臨床病理・病態学	メディカ出版	大阪	2004	98-99
山内豊明	ショック		ナーシンググラフィカ③疾病の成り立ちー臨床病理・病態学	メディカ出版	大阪	2004	100-107

## 書籍

著者氏名	論文タイトル名	書籍全体の 編集者名	書 籍 名	出版社名	出版地	出版年	ページ
山内豊明	一目でわかる内科学 (書評)		看護			2004	56巻11号、 98
加藤修一	筋萎縮性側索硬化症	平井俊策	神経疾患エキス パート看護師マ ニユアル	ヴァンメディカ ル	東京	2002	152-160
湯浅龍彦、川上 純子、吉本佳預 子、水町真知子、 若林祐子	筋萎縮性側索硬化症 のインフォームド・コン セント(1)ALSとともに 生きる人から見た現状 と告知のあり方		医療56(6)			2002	338-343
湯浅龍彦、川上 純子、吉本佳預 子、水町真知子、 若林祐子	筋萎縮性側索硬化症 のインフォームド・コン セント(2)ALSとともに 生きる人から見た現状 と告知のあり方		医療56(7)			2002	393-400

## 雑誌

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
林恒美、中島孝、福原信義	マンヤド・ジョセフ病における臨床症状と123I-IMP SPECT所見の評価について	臨床神経学	41	574-581	2001
Fukutake T, Kamitukasa I, Arai K, Hattori T, Nakajima T	A patient homozygous for the SCA6 gene with retinitis pigmentosa.	Clin Genet	61(5)	375-379	2002
亀井啓史、中島孝、福原信義	錐体外路系疾患における脳血流SPECTの統計学的解析による検討	脳と神経	54(8)	667-672	2002
中島孝	脊髄小脳変性症の臨床ルパスにむけて	医療	56(7)	420-422	2002
Koide T, Nakajima T, Makifuchi T, Nobuyoshi F	Systemic mastocytosis and recurrent anaphylactic shock	The Lancet	Vol.359,9323	p2084	2002
Koide T, Ohtake H, Nakajima T, Furukawa H, Sakai K, Kamei H, Makifuchi T, Nobuyoshi F	A patient with dementia with Lewy bodies and codon 232 mutation of PRNP	Neurology	59	1619-1621	2002
袖山千恵子、村松林子、平野美鈴、二ノ宮正、山岸恵美子、山岸とし江、黒崎みや子、北沢真喜子、小出隆司、中島孝、福原信義	プリオン遺伝子コドン232変異を持つ痴呆患者の看護と在宅指導についての経験	医療	56(11)	664-667	2002
Hayakawa Y, Nakajima T, Takagi M, Fukuhara N, Abe H	Human cerebellar activation in relation to saccadic eye movements: an fMRI study	Ophthalmologica	216	399-405	2002
Nemoto H, Toda H, Nakajima T, Hosokawa S, Okada Y, Ymamaoto K, Horicuchi R, Endo K, Masahiko M, Goto, F	Fluvoxamine modulates pain sensation and affective processing of pain in human brain	NeuroReport			in press
Nakajima T	筋萎縮性側索硬化症患者に対するQoL向上への取り組み	神経内科治療学		1-14	2003.3
川上英孝、中島孝	脳梗塞を疑う	Medicina	40	602-605	2003
白崎弘恵、石田千穂、中島孝、亀井啓史、小出隆司、福原信義	音声解析を用いた脊髄小脳変性症の定量的機能評価法について—Machado-Joseph病におけるtaltirelin hydrateの効果—	臨床神経学	43	143-8	2003
中島孝	緩和ケアとはなにか	難病と在宅ケア	9	7-11	2003
中島孝	筋萎縮性側索硬化症患者に関する生活の質(QoL)向上への取り組み	神経治療学	20	139-147	2003
Nemoto H, Toda H, Nakajima T, Hosokawa S, Okada Y, Yamamoto K, Horiuchi R, Endo K, Masahiko M, Goto F	Fluvoxamine modulates pain sensation and affective processing of pain in human brain	NeuroReport	14	791-797	2003
中島孝	神経難病(特にALS)医療とQOL	ターミナルケア	14	182-189	2004
中島孝	ALS早期診断のための新しい展開-脳SPECT画像での検討	神経内科	60	251-258	2004

## 雑誌

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
中島孝	これからの緩和医療とは何か	新医療	8月号	138-142	2004
中島孝	神経難病とQOL	神経内科の最新医療 (先端医療技術研究所)		p5-p10	2004
Atsushi Miki, Takashi Nakajima, Mineo Takagi, Tomoaki Usui, Haruki Abe, Chia-Shang J. Liu, BA, and Grant T. Liu, MD	Near-infrared Spectroscopy of the Visual Cortex in Unilateral Optic neuritis	Am J Ophthalmol	139	353-356	2005
中島孝	難病の生活の質(QOL)研究で学んだこと — 課題と今後の展望—	JALSA	64	51-57	2005
中島孝	生をささえる共通基盤をもとめて—QOLの価値観は健康時から重症時へとどんどん変化していく	難病と在宅ケア	10(12)	7-12	2005
Sakuraba T, Hatanaka Y, Ito M, Mizuno Y	Establishment and Preservation of Communication Method of ALS Patients in Total Locked-in Stage(Usefulness of Electroencephalography Switch = MCTOS)	Amyotrophic Lateral Sclerosis	Vol.3 Supplement 2	116-117	2002
伊藤道哉	終末期におけるスピリチュアルな領域と宗教—研究動向をもとに—	緩和医療学	4(1)	13-21	2002
伊藤道哉	クリティカル・パスとチーム医療	Diabetes Frontier	13(4)	458-462	2002
伊藤道哉	疫学研究の倫理指針	クレコンレポート	24	1-7	2002
伊藤道哉	看護・介護現場で求められる情報開示とは	臨床老年看護	9(4)	71-76	2002
伊藤道哉, 山崎壮一郎, 濃沼信夫, 石川秀樹	QOLからみたAPC遺伝子検査のインパクト	病院管理	39, Suppl	194	2002
伊藤道哉	医療政策・政策医療とQOL	第58回国立病院療養所総合医学会プログラム, 医療	57(増刊)	93	2003
伊藤道哉	医行為のゆくえ	クレコンレポート	25	1-11	2003
伊藤道哉	医療・福祉の経済学	第1回日本神経疾患医療福祉従事者学会プログラム・抄録集		35	2003
伊藤道哉	ALS(筋萎縮性側索硬化症),特集国試に出るかもしれない話題の疾患	臨床スタディー	24(14)	58	2003
伊藤道哉	問題:家族以外の者にたんの吸引を認めるべきか否か	看護部長通信	1(3)	50-54	2003
伊藤道哉	解答:家族以外の者にたんの吸引を認めるべきか否か	看護部長通信	1(4)	44-51	2003
伊藤道哉	考察:尊厳死と「終末期医療に関する調査」	看護部長通信	1(5)	32-39	2003
伊藤道哉	再考察:諸外国の状況を踏まえた安楽死	看護部長通信	1(6)	32-40	2004

## 雑誌

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
伊藤道哉, 濃沼信夫	生命保険をめぐる遺伝性難治疾患患者・家族の不利益の状況	病院管理	40	Suppl.197	2003
伊藤道哉	考察: 尊厳死と「終末期医療に関する調査」	看護部長通信	1(5)	32-39	2003
伊藤道哉	書評『陣田泰子他: 図解でわかるナースのための仕事術!』, 照林社』	月刊ナースマネジャー	5(9)	43	2003
伊藤道哉	書評『飯野奈津子: 患者本位の医療を求めて, 日本放送出版協会』	月刊ナースマネジャー	5(10)	39	2003
伊藤道哉	書評『松田晋哉編著: 21世紀の医療と診断群分類, じほう』	月刊ナースマネジャー	5(12)	5	2003
伊藤道哉	今何故「緩和ケア」か, 特集ALSの緩和ケアを考える	JALSA	61	33-34	2004
伊藤道哉		厚生労働省: 看護師等によるALS患者の在宅療養支援に関する分科会報告書, 2003. <a href="http://www.mhlw.go.jp/shingi/2003/06/s0609-4a.html">http://www.mhlw.go.jp/shingi/2003/06/s0609-4a.html</a>			
伊藤道哉	ALS等神経難病在宅療養者の事例検討	平成15年度宮城県神経難病医療連絡協議会表地研修会, 第2回, 仙台			2003年9月
伊藤道哉	医療・福祉の経済学	第1回日本神経疾患医療福祉従事者学会, 横浜			2003年9月
伊藤道哉, 濃沼信夫, 石川秀樹	家族性腫瘍診療の社会的側面	第41回日本癌治療学会ワークショップ『家族性腫瘍を取り巻く諸問題』, 札幌			2003年10月
伊藤道哉, 濃沼信夫	生命保険をめぐる遺伝性難治疾患患者・家族の不利益の状況	第41回日本病院管理学会, 東京			2003年10月
伊藤道哉	医療政策・政策医療とQOL	第58回国立病院療養所総合医学会, 札幌			2003年11月
伊藤道哉, 佐伯智子, 石川秀樹:	家族性腫瘍診療における社会的問題—医療費補助/適正な医療保険制度に向けての提言—	慶應義塾大学 Open Research Forum, 東京			2003年11月
伊藤道哉, 濃沼信夫, 佐伯智子, 石川秀樹	遺伝性疾患の社会的不利益	人文・社会科学振興のためのプロジェクト研究事業 プロジェクト研究〈医療システムと倫理〉, 仙台			2004年1月
伊藤道哉	DPCと神経難病	第3回大阪神経難病医療協議会, 大阪			2004年3月
伊藤道哉, 木村格, 中島孝, 石上節子, 三浦るみ, 高橋文子, 大里るり, 遠藤慶子	6. 神経難病(特にALS)の緩和ケア (2) ALS等神経難病の緩和ケア・終末期医療に関する医療者の意識	ターミナルケア	14, Suppl	164-169	2004年9月
伊藤道哉	筋萎縮性側索硬化症の理解	クリニカルスタディ	25(8)	44-52	2004年4月
伊藤道哉	解答: 代理懐胎の是非	看護部長通信	2(1)	50-60	2004年4月

## 雑誌

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
伊藤道哉	DPCの今後の展開と導入に向けての対策	看護部長通信	2(1)	15-21	2004年4月
伊藤道哉	解答:着床前診断の是非	看護部長通信	2(2)	68-74	2004年8月
伊藤道哉	解答:重篤な疾患を持つ児の生命維持治療の中止の条件	看護部長通信	2(3)	70-76	2004年10月
伊藤道哉	解答:15歳未満の子どもの脳死移植	看護部長通信	2(4)	76-82	2004年12月
伊藤道哉	解答:代替医療	看護部長通信	2(6)	65-71	2005年2月
伊藤道哉	電子カルテの羅針盤	看護部長通信	2(6)	94-97	2005年2月
伊藤道哉	緩和ケア・終末期医療に関する新展開	クレコンレポート	26	1-8	2004年9月
伊藤道哉、濃沼信夫、川島孝一郎	退院困難な事例の医療的/社会的要因に関する研究	病院管理	41, Suppl	135	2004年8月
今井尚志	4-2運動ニューロン疾患(分担執筆)	必須神経内科診療ハンドブック		242-248	2003
大隅悦子、今井尚志	5-1筋生検(分担執筆)	必須神経内科診療ハンドブック		162-166	2003
今井尚志	普通の人生だけでなく、また新しい人生がある	難病と在宅ケア	Vol.8 No.10	7-13	2003
今井尚志	ALS治療ガイドラインに沿った患者さんの医療・療養支援の進め方	難病と在宅ケア	Vol.9 No.7	29-32	2003
今井尚志	人工呼吸器装着ALS患者さんの療養先拡大に向けて	難病と在宅ケア	Vol.9 No.10	24-26	2004
今井尚志ほか	人工呼吸器装着ALS患者さんの療養先拡大に向けて	難病と在宅ケア	9(10)	24-26	2004
今井尚志ほか	神経難病、特に筋萎縮性側索硬化症(ALS)とは	ターミナルケア	14(増刊)	98-102	2004
今井尚志ほか	神経難病、特に筋萎縮性側索硬化症(ALS)と告知	ターミナルケア	14(増刊)	103-105	2004
生込三和子、友松幸子、佐々木馨子、飯田苗恵、岡本幸市、依田裕子、小林良清、早乙女千恵子	神経難病医療ネットワークにおける難病医療専門員のコーディネート機能	THE KITAKANTO MEDICAL JOURNAL	Vol.52, No.4	243-252	2002
新井明子、生込三和子、阿久澤彩子、池上明子、相澤勝健、美原盤、羽鳥秋子、高久順子	神経難病患者に対する在宅療養支援としての短期入院—筋萎縮性側索硬化症の1事例を通して—	全日本病院協会雑誌	15(2)	773-777	2004
生込三和子	難病相談に寄せられる相談の特性と支援のあり方	全国難病センター研究会第2回大会報告集		25-32	2004
生込三和子	専門性を発揮する訪問看護ステーション「難病療養者の訪問看護」	保健の科学	47(1)		(掲載予定印刷中)
荻野美恵子、斎藤豊和	呼吸管理	総合リハビリテーション	29巻11号	997-1005	2001
荻野美恵子	在宅人工呼吸療法の過去と未来	日本在宅医学会	4巻1号	7-8	2002
荻野美恵子	神経難病の在宅ケア	からだの科学	232号	63-67	2003
荻野美恵子	慢性炎症性脱髄性多発ニューロパチー(CIDP)における血液浄化療法	日本アフェレンス学会	22号	88	2003
遠藤基、荻野美恵子、荻野裕、斎藤豊和、坂井文彦	当院における在宅人工呼吸療法16年間の変遷	日本在宅医学会	5巻1号	75	2003

## 雑誌

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
小倉朗子	三鷹市における難病等在宅患者支援事業の機能と地域ケア・システムの課題に関する研究	日本プライマリケア学会 第25回日本プライマリ・ケア学会 プログラム集	第25回日本プライマリ・ケア学会	38	2002
谷口亮一、若林研司、野村幸史、小倉朗子、打林友子、吉村香織、平磯幸子	神経難病患者支援地域ケアシステムの構築 東京都三鷹市における試み	第5回 日本在宅医学学会大会		64	2003
石井恵、塚木佳代、小倉朗子、水野優季	人工呼吸器装着を選択しないALS療養者の在宅支援に関する検討—喉頭摘出だけを選択した療養者の終末時看護—	日本難病看護学会誌	8	62	2003
水野優季、小倉朗子、川村佐和子	人工呼吸器装着を選択しないALS療養者の在宅誌絵に関する検討—喉頭摘出だけを選択した療養者の退院準備を通して—	日本難病看護学会誌	8	61	2003
富加見美智子、小原史子、小倉朗子、水野優季	在宅人工呼吸療法療養において療養者や家族が抱える課題や悩みとサービスシステムの課題に関する検討	日本難病看護学会誌	8	40	2003
小倉朗子、長沢つるよ、兼山綾子、石井昌子他	神経・筋難病療養者のコミュニケーション その特性と支援の基準化に関する検討	日本難病看護学会誌	8	41	2003
水野優季、小倉朗子、川村佐和子、小西かおる	在宅人工呼吸療法を実施しているALS療養者における排痰困難とカフレーターを用いる排痰看護に関する検討	日本呼吸管理学会誌	13	183	2003
松下祥子、小倉朗子、小西かおる、石井昌子、井上愛子	東京都における在宅人工呼吸器使用難病患者の実態調査 第2報 一二次保健医療圏を単位とした訪問看護の利用状況—	日本難病看護学会誌	8	43	2003
井上愛子、松下祥子、小倉朗子、石井昌子	東京都における在宅人工呼吸器使用難病患者の実態調査	日本難病看護学会誌	8	42	2003
小倉朗子	ALS等神経難病療養者の療養経過と看護サービス 療養環境整備の課題	訪問看護と介護	8	306-311	2003
小倉朗子	人工呼吸器装着等医療依存度の高い長期療養者への24時間在宅ケア支援システムに関する研究	日本訪問看護振興財団 報告書			2003
小倉朗子	特集:医療連携 各領域における医療連携への取り組み 看護連携について—神経難病療養者の場合—	実験治療	670	84-89	2003
松下祥子、小倉朗子、近藤紀子、笠井秀子他	在宅における気道内吸引の管理支援に関する研究	日本難病看護学会誌	7	180-187	2003
水野優季、小倉朗子、猫田泰敏、川村佐和子	ALS在宅人工呼吸療養者の外出時における健康問題発生状況およびその要因に関する検討	東京保健科学学会誌	6	281-291	2004

## 雑誌

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
小倉朗子、長沢つるよ	ALS療養者における呼吸障害の評価と看護の役割	難病と在宅ケア	10	7-9	2004
松下祥子、小倉朗子、水野優季	筋萎縮側索硬化症患者の看護	アセスメントの基本クリニカルスタディ	25	53-59	2004
小倉朗子、水野優季、松下祥子	筋萎縮側索硬化症患者の看護	事例展開	25	60-68	2004
小倉朗子、笠井秀子、川崎芳子、近藤清彦、水野優季、山崎摩耶、村上満子、田中ちさと、阿部まゆみ	人工呼吸器装着中の在宅ALS患者の療養支援訪問看護従事者マニュアル	平成15年度看護政策立案のための基盤整備推進事業報告書			2004
川村佐和子、上野桂子、小倉朗子、小西かおる、星北斗、松永敏子、村嶋幸代、山崎摩耶	ALS患者にかかる在宅療養環境の整備状況に関する調査研究	平成15年度厚生労働省医療技術 評価総合研究事業研究報告会		55-60	2004
小西かおる、石井昌子、川村佐和子、板垣ゆみ、小倉朗子	筋萎縮性側索硬化症(ALS)の在宅人工呼吸療法における医学的管理の現状と課題	日本呼吸管理学会誌	14(1)	123	2004
小倉朗子、牛込三和子、川村佐和子、水野優季、長濱あかし、佐藤美穂子、田久保恵津子	人工呼吸器装着在宅ALS療養者の訪問看護ニーズに関する検討	日本難病看護学会誌	9	77	2004
小西かおる、石井昌子、板垣ゆみ、小倉朗子、長澤つるよ、兼山綾子、川村佐和子、水野優季、上野桂子	人工呼吸器装着ALS患者の在宅療養環境の整備状況と課題	日本難病看護学会誌	9	74	2004
石井昌子、小西かおる、板垣ゆみ、小倉朗子、長澤つるよ、兼山綾子、川村佐和子、水野優季、上野桂子	人工呼吸器装着ALS患者の在宅療養における吸引の現状と課題	日本難病看護学会誌	9	75	2004
板垣ゆみ、小西かおる、石井昌子、小倉朗子、長澤つるよ、兼山綾子、川村佐和子、水野優季	ALSにかかる療養環境の整備に対する療養者・家族のニーズ	日本難病看護学会誌	9	76	2004
小西かおる、石井昌子、川村佐和子、板垣ゆみ、小倉朗子	筋萎縮性側索硬化症(ALS)の在宅人工呼吸療法における医学的管理の現状と課題	日本呼吸管理学会誌	14(1)	123	2004
荻野美恵子	神経疾患の医療手順 筋萎縮性側索硬化症(ALS)の医療手順	神経治療学	Vol.21, No.2	127-137	2004.03.25
荻野美恵子	非悪性疾患と緩和ケア B 神経難病(特にALS)の緩和ケア 3.神経難病(特にALS)の症状コントロール(1)呼吸困難への対処	ターミナルケア	Vol.14, 11月増刊号	106-112	2004.11.01
荻野美恵子	人工呼吸器を着けるか着けないか [第3部]神経難病の事前指定書-北里大学東病院の取り組み-	難病と在宅ケア	Vol.10, No.2	15-18	2004.05.01
荻野美恵子	慢性炎症性脱髄性多発神経炎(chronic inflammatory demyelinating polyneuropathy:CIDP)の病態と治療	日本アフェシス学会雑誌	Vol.23, No.3	245-249	2004.10.31



## 雑誌

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
Satoshi Okamiya, Mieko Ogino, Yutaka Ogino, Sachiko Irie, Naomi Kanazawa, Toyokazu Saito, and Fumihiko Sakai.	Tryptophan-immobilized Column-based Immunoabsorption as the Choice Method for Plasmapheresis in Guillain-Barre Syndrome.	Ther Apher Dial	8(3)	248-253	2004
Ogino M, Ogino Y, Sakai F.	CAN WE PREDICT IF THE PATIENT WITH ALS WILL DEVELOP TOTALLY LOCKED-IN STATE(TLS) OR MINIMAL COMMUNICATION STATE(MCS) RELATIVELY EARLY AFTER INDUCTION OF MECHANICAL VENTILATION?	ALS and motor neuron disorders	5(Suppl 2)	119	2004
Kobayashi M, Saito T, Ogino M.	LONGITUDINAL CHANGES OF QUALITY OF LIFE (QoL) IN PATIENTS WITH ALS IN JAPAN.	ALS and motor neuron disorders	5(Suppl 2)	135	2004
中西浩司, 今関亜由美, 上出直人, 荻野美恵子	ALS手のアーチサポート効果	日本作業療法学会誌	Vol.38th	159	2004.05.15
滝山容子, 荻野美恵子, 荻野裕, 大木由美子, 坂井文彦	悪性腫瘍を合併し重度の神経症状を残した神経Sweet病の1例	Neuroimmunology	Vol.12, No.1	82	2004
早川映理, 牛久保美津子, 川村佐和子	神経難病療養者・家族がかかえる在宅療養上の問題の構造化	日本難病看護学会誌	8巻1号	55	2003
水流聡子, 中西睦子, 川村佐和子, 堀内成子, 萱間真美, 村嶋幸代, 本道和子, 井上真奈美, 日高陵好, 内野聖子, 江藤宏美, 長岡由紀子, 石垣恭子, 宇都由美子, 高見美樹, 柏木聖代, 柏木公一, 美代賢吾, 横山梓	診療看護サービスのマネジメントに有用な電子経過表と看護関連マスタの設計	医療情報学	23巻1号	98-99	2003
早川映理, 牛久保美津子, 川村佐和子	難病医療相談における多職種間協働と看護の専門性に関する研究	日本難病看護学会誌	7巻3号	188-195	2003
小倉朗子, 長沢つるよ, 兼山綾子, 小西かおる, 水野優季, 松下祥子, 石井昌子, 川村佐和子	神経・筋難病療養者のコミュニケーション その特性と支援基準化に関する検討	日本難病看護学会誌	8巻1号	41	2003
水野優季, 小倉朗子, 猫田泰敏, 川村佐和子	ALS在宅人工呼吸療養者の外出時における健康問題発生状況およびその要因に関する検討	東京保健科学学会誌	6	281-291	2004
山田智子, 杉尾節子, 勝野とわ子, 恵美須文枝, 川村佐和子	患者用クリニカルパスの活用構造と看護支援に関する検討	東京保健科学学会誌	7巻1号	5-13	2004
田口大介, 本道和子, 習田昭裕, 真砂涼子, 勝野とわ子, 川村佐和子	看護における効率化に関する文献の検討	東京保健科学学会誌	6巻4号	261-267	2004

## 雑誌

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
木全真理、山田智子、水野優季、小倉朗子、山村礎、川村佐和子	ALS療養者の在宅療養離脱要因に関する検討	東京保健科学学会誌	7巻2号	55-63	2004
川村佐和子、上野桂子、小倉朗子、小西かおる、星北斗、松永敏子、村嶋幸代、山崎摩耶	ALS患者にかかる在宅療養環境の整備状況に関する調査研究	平成15年度厚生労働省 医療技術 評価総合研究事業研究報告会		55-60	2004
小西かおる、石井昌子、川村佐和子、板垣ゆみ、小倉朗子	筋萎縮性側索硬化症(ALS)の在宅人工呼吸療法における医学的管理の現状と課題	日本呼吸管理学会誌	14(1)	123	2004
小倉朗子、牛込三和子、川村佐和子、水野優季、長濱あかし、佐藤美穂子、田久保恵津子	人工呼吸器装着在宅ALS療養者の訪問看護ニーズに関する検討	日本難病看護学会誌	9	77	2004
小西かおる、石井昌子、板垣ゆみ、小倉朗子、長澤つるよ、兼山綾子、川村佐和子、水野優季、上野桂子	人工呼吸器装着ALS患者の在宅療養環境の整備状況と課題	日本難病看護学会誌	9	74	2004
石井昌子、小西かおる、板垣ゆみ、小倉朗子、長澤つるよ、兼山綾子、川村佐和子、水野優季、上野桂子	人工呼吸器装着ALS患者の在宅療養における吸引の現状と課題	日本難病看護学会誌	9	75	2004
板垣ゆみ、小西かおる、石井昌子、小倉朗子、長澤つるよ、兼山綾子、川村佐和子、水野優季	ALSにかかる療養環境の整備に対する療養者・家族のニーズ	日本難病看護学会誌	9	76	2004
木全真理、山田智子、水野優希、川村佐和子	ALS療養者の在宅療養離脱に関する判断樹(案)の検討ー発病から呼吸障害が重篤化に至る時期ー	日本難病看護学会誌	9	41	2004
Kuno S	Association between dopamine transporter gene polymorphism and susceptibility to Parkinson's disease in Japan.	Move Disord	17	831-832	2002
Kuno S	Contribution of interleukin (IL)-1 $\beta$ gene polymorphisms in multiple system atrophy.	Move Disord	17	808-811	2002
Kuno S	The novel Catecholaminergic and serotonergic Activity enhancer R(-)-1-(benzofuran-2-yl)-2-propylaminopentane up-regulates neurotrophic factor synthesis in mouse astrocytes	Neuroscience Letters	328	205-208	2002
Kuno S	Relationship between urinary symptoms and disease-related parameters in multiple sclerosis.	J Neurol	249	1010-1015	2002
久野 貞子	進行期パーキンソン病患者の治療	Medicament News	(2002.7.25)	21	2002

## 平成14年度～平成16年度 研究成果の刊行に関する一覧表

## 雑誌

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
久野 貞子	まずドパミン・アゴニスト L ドーパはなるべく少量に(シ ンポジウム パーキンソン病を学 び直す・薬物療法)	Nikkei Medical	5月号	119-122	2002
久野 貞子	治療アルゴリズムの功罪	BRAIN MEDICAL	14(2)	35-38	2002.6
久野 貞子	進行期パーキンソン病患者 の治療	Progress in Medicine	22(11)	356-364	2002.11
久野 貞子	パーキンソン病のリハビリ テーション実践マニュアル	Monthly Book MEDICAL REHABILITATION	No21	29-35	2002
久野 貞子	高齢者パーキンソン病の実 践的薬物治療－自律神経症 状と対策	老年医学	40(9)	1233-1236	2002
久野 貞子	進行したパーキンソン病のマ ネジメント	日本医事新報	No4093	92-93	2002
久野 貞子	第9回カテコールアミンと神 経疾患研究会	Progress In Medicine	Vol.22 No.1	231-232	2002
Y Mizuno, H Takubo, E Mizuta, S Kuno	Malignant syndorome in Parkinson's disease: concept and review of the literature.	Parkinsonism & Related Disorders	Vol.9 Sup.1	3-9	2003
H Ichinose, T Ohye, H Shinotoh, K Arai, S Yamazaki, E Mizuta, S Kuno, T Nagatsu	Biopterin metabolism in patients with malignant syndrome.	Parkinsonism & Related Disorders	Vol.9 Sup.1	11-14	2003
H Takubo, T Harada, T Hashimoto, Y Inaba, I Kunazawa, S Kuno, Y Mizuno, E Mizuta, M Murata, T Nagatsu, S Nakamura, N Yanagisawa, H Narabayashi	A collaborative study on the malignant syndrome in Parkinson's disease and related disorders.	Parkinsonism & Related Disorders	Vol.9 Sup.1	31-41	2003
S Ikebe, T Harada, T Hashimoto, I Kanazawa, S Kuno, Y Mizuno, E Mizuta, M Murata, T Nagatsu, S Nakamura, H Takubo, N Yanagisawa, H Narabayashi	Prevention and treatment of malignant syndrome in Parkinson's disease: a consensus statement of the malignant syndrome research group	Parkinsonism & Related Disorders	Vol.9 Sup.1	47-49	2003
Eds.:Shigeki Kuzuhara & Yoshikuni Mizuno, Guest eds:Genjiro Hirose, Ichiro Kanazawa, Sadako Kuno, Masahiro Nomoto, Norio Ogawa, Kunio Tashiro, Mitsutoshi Yamamoto, Nobuo Yanagizawa	11 <sup>th</sup> Synposium on the Treatment of Parkinson's Disease:oct.26,2002 Tokyo, Japan.	J.Neurology	Vol.250 Supl.3		2003
K Ohta, S Kuno, I Mizuta, A Fujinami, H Matsui, M Ohta	Effects of dopamine agonists bromocriptine, pergolide, cabergoline, and SKF-38393 on GDNF, NGF, and BDNF synthesis in cultured mouse astrocytes.	Life Sciences	73	617-626	2003

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
N Yoshimura, S Kuno, M B. Chancellor, W C. de Groat & S Seki	Dopaminergic mechanisms underlying bladder hyperactivity in rats with a unilateral 6-hydroxydopamine(6-OHDA) lesion of the nigrostriatal pathway.	Br. J. Pharmacol	139(8)	1425-1432	2003
I Araki, M Matsui, K Ozawa, M Takeda and S Kuno	Relationship of bladder dysfunction to lesion site in Multiple Sclerosis.	J.Urology	169	1384-1387	2003
Nishimura M, Kuno S, Mizuta I, Maruyama H, Kaji R, and Kawakami H	Influence of monocyte chemoattractant protein (MCP)-1 gene polymorphism on age-at-onset of sporadic Parkinson's disease	Mov Disord	18	953-955	2003
Hara H, Ohta M, Ohta K, Kuno S, Adachi T	Apomorphine attenuates 6-hydroxydopamine-induced apoptotic cell death.	Redox Report	8(4)	193-197	2003
Hara H, Ohta M, Ohta K, Kuno S, Adachi T	Increase of antioxidative potential by tert-butylhydroquinone protects cell death associated with 6-hydroxydopamine-induced oxidative stress in neuroblastoma SH-SY5Y cells.	Mol Brain Res	119(2)	125-131	2003
久野貞子	口部ジスキネジア	今日の治療指針	2003年版	579-580	2003
柳沢信夫、久野貞子、村田美穂、葛原茂樹	パーキンソン病の薬物治療とドパミンアゴニストの意義	Medical ASAHI		68-73	2003
久野貞子	パーキンソン病－歴史と現況	学会会報	838	120-126	2003
Ohta K, Fujinami A, Kuno S, Sakamoto A, Matsui H, Kawahara Y, Ohta M	Cabergoline stimulates synthesis and secretion of nerve growth factor, brain-derived neurotrophic factor and glial cell line-derived neurotrophic factor by mouse astrocytes in primary culture.	Pharmacology	71	162-168	2004
Kuno S, Mizuta E, Yamasaki S, Araki I	Effects of pergolide on nocturia in Parkinson's disease : three female cases selected from over 400 patients.	Parkinsonism and Related Disorders	10	181-187	2004
久野貞子	悪性症候群	脳の科学	(増刊号)	327-329	2004
久野貞子	エビデンスから考えるパーキンソン病治療-CALM-PDに見るプラミペキソールの臨床的意義 Round Table Discussion(座談会)	Medical tribune			2004
久野貞子	パーキンソン病の疾患概念・病因・診断基準	日本臨牀	62(9)	1603-1607	2004
久野貞子	パーキンソン病患者の悪性症候群の予防と治療	日本臨牀	62(9)	1721-1724	2004

## 雑誌

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
水野美邦、柳澤信夫、長谷川一子、久野貞子、山本光利、古和久幸	Parkinson病に対するSND919(pramipexole)の長期投与試験	神経治療学	20(4)	465-477	2003
久野貞子	パーキンソン病と鑑別すべき変性疾患 多系統萎縮症-線条体黒質変性症を中心に	診断と治療	92(5)	772-776	2004
久野貞子	脳深部刺激療法の患者選択と術後経過	脳21	7(3)	65(287)-67(289)	2004
久野貞子	パーキンソン病治療の最前線	映像情報	36(13)	1496-1500	2004
Kumamoto T, Ueyama H, Tsumura H, Toyoshima I, Tsuda T	Expression of lysosome-related proteins and genes in the skeletal muscles of inclusion body myositis	Acta Neuropathol(Berl)	107 (1)	59-65	2004
Ueyama H, Kumamoto T, Narusako T, Fujimoto S, Goda M	Solitary metastasis of prostatic cancer to the internal auditory canal	Clin Neurol Neurosurg	105 (3)	180-182	2003
Ueyama H, Kumamoto T, Horinouchi H, Fujimoto S, Aono H, Tsuda T	Clinical heterogeneity in dysferlinopathy	Intern Med	41 (7)	532-536	2002
Kumamoto T, Yukishige K, Ito T, Nagao S, Mori T, Ueyama H, Tsumura H, Tsuda T	Cellular distribution of proteolytic enzymes in the skeletal muscle of sarcoid myopathy	Acta Neuropathol(Berl)	104 (1)	38-44	2002
熊本俊秀	Stiff-man症候群	Clinical Neuroscience	21 (12)	1474-1475	2003
石井とも子、小野忠弘、幡手雄幸、熊本俊秀	Metoclopramide投与により発症し、致死的不整脈出現をみた悪性症候群の1例	内科	93(2)	391-395	2004
中村憲一郎、中村憲一郎、上山秀嗣、波多野 豊、藤原作平、熊本俊秀	高度の四肢麻痺を呈した帯状疱疹ウイルス性髄膜脳炎の頭部MRI所見	神経内科	61(2)	208-209	2004
宇津宮香苗、荒川竜樹、藤本 伸、上山秀嗣、熊本俊秀	Creutzfeldt-Jakob病類似の症状を呈し髄液14-3-3蛋白陽性であったステロイド反応性脳症の1例	臨床神経	44(9)	618-622	2004
増田曜章、上山秀嗣、荒川竜樹、高下光弘、熊本俊秀	全脊椎領域に進展した脊髄硬膜下膿瘍	神経内科	61(5)	477-480	2004
石井とも子*、小野忠弘*、幡手雄幸*、熊本俊秀(*小野内科病院内科)	Metoclopramide投与により発症し、致死的不整脈出現をみた悪性症候群の1例	内科	93(2)	391-395	2004
熊本俊秀	Adie瞳孔(Adie症候群)	CLINICAL NEUROSCIENCE別冊	22(7)	858-859	2004
Matsuno O, Watanabe K, Kataoka H, Miyazaki E, Kumamoto T	A case of diffuse panbronchiolitis (DPB) in a patient positive for HTLV-1	Scand J Infect Dis	36(9)	687-689	2004
Kumamoto T, Ueyama H, Tsumura H, Toyoshima I, Tsuda T	Expression of lysosome-related proteins and genes in the skeletal muscles of inclusion body myositis.	Acta Neuropathol	107	59-65	2004

## 雑誌

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
Li M, <u>Kuroiwa Y</u> , Omoto S, Hotta S, Suzuki Y, Kamitani T, Koyano S, Segawa F	The effect of stimulus-onset asynchrony on human visual event-related potentials during simple and choice reaction paradigms under constant or random conditions.	Neuroscience Letters	345	109-112	2003
Kamitani T, <u>Kuroiwa Y</u> , Li M, Ikegami T, Matsubara S	Relationship between cerebellar size and variation of the reaction time during a visual cognitive task in normal subjects.	J Neurol	250	1001-1003	2003
Kamitani T, <u>Kuroiwa Y</u> , Wang L, Li M, Ikegami T, Matsubara S	Event-related potentials during visual S1-S2 paradigm in multiple system atrophy: relation to morphologic changes on brain MRI measurement.	changes Parkinsonism and Related Disorders.	10	93-100	2003
Yamada H, Dezawa M, <u>Kuroiwa Y</u>	Transfer of the von Hippel-Lindau gene to neuronal progenitor cells in treatment for Parkinson's disease.	Ann Neurol	54	352-359	2003
Shimamura M, Momose T, Takahashi T, Uchida T, <u>Kuroiwa Y</u>	Measurement using 18F-dopa and 11 C-N-methylspiperone PET of striatal dopaminergic function in corticobasal degeneration: comparison with progressive supranuclear palsy and normal controls.				(in submission)
Kamitani T, <u>Kuroiwa Y</u> , Hidaka M	Isolated hypesthesia in the right V2 and V3 dermatomes after a midpontine infarction localized at an ipsilateral principal sensory trigeminal nucleus.	Journal of Neurology, Neurosurgery & Psychiatry	75(10)	1508-1509	2004
Kawai S, Tsukuda M, Mochimatsu I, Enomoto H, Kagesato Y, Hirose H, <u>Kuroiwa Y</u> , Suzuki Y	A study of the early stage of Dysphagia in amyotrophic lateral sclerosis.	Dysphagia	18(1)	1-8	2004
Johkura K, Komiyama A, <u>Kuroiwa Y</u>	Vertical conjugate eye deviation in postresuscitation coma.	Ann Neurol	56(6)	878-81	2004
Doi H, Mitsui K, Kurosawa M, Machida Y, <u>Kuroiwa Y</u> , Nukina N.	Identification of ubiquitin-interacting proteins in purified polyglutamine aggregates.	FEBS Lett	571(1-3)	171-6	2004

## 雑誌

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
Kishida H, Sakasegawa Y, Watanabe K, Yamakawa Y, Nishijima M, Kuroiwa Y, Hachiya NS, Kaneko K	Non-glycosylphosphatidylinositol (GPI)-anchored recombinant prion protein with dominant-negative mutation inhibits PrPSc replication in vitro.	Amyloid	11(1)	14-20	2004
Hayashi E, Kuroiwa Y, Omoto S, Kamitani T, Li M, Koyano S.	Visual evoked potential changes related to illusory perception in normal human subjects.	Neurosci Lett	8;359(1-2)	29-32	2004
後藤清恵	難病患者さんの心理とリハビリテーション	月刊雑誌 難病と在宅ケア	VOL.7 No.12	26-28	2002年3月号
後藤清恵	こころを支えるということ-臨床心理士の立場から	月刊雑誌 難病と在宅ケア	VOL.8 No.2	16-17	2002年5月号
後藤清恵	難病患者への心理的サポートグループ	保健婦雑誌	VOL.58 No.12	1060-1066	2002.12.10
後藤清恵	「ひきこもり」の本人・家族との心理面接的アプローチ	家族療法研究	vol.17 No.2 10-12	10-12	2001.8
後藤清恵	特別論考 難病患者および家族の心理とその支援-サポートグループ導入の勧め-	生活教育	3月号		2003.2
後藤清恵	「病気に立ち向かうには」第8回JALSA講習会・研修会新潟大会シンポジウム	ALS協会新潟県支部機関紙ひまわり			印刷中
後藤清恵	「臨床実習指導者および学生の資質」第38回日本理学療法士協会全国大会	理学療法学	第31巻 第3号		2004
後藤清恵	「臨床実習指導者および学生の資質」	理学療法学	VOL.31 NO.4	241~243	2004
小森哲夫, 清水俊夫	筋萎縮性側索硬化症における横隔膜機能の電気生理学的評価	臨床脳波	46(1)	49-54	2004
小森哲夫	筋萎縮性側索硬化症における非侵襲的陽圧呼吸療法-その導入から眼界まで-	日本難病看護学会誌	第8巻 第3号	151-158	2004
佐野薫, 近藤清彦	在宅人工呼吸療法(HMV)におけるハイテク在宅医療機器の概要	輸液栄養(JJPEN)	24(8)	437-448	2002
近藤清彦	神経難病の在宅医療-勤務医の立場から	モダン・フィジシャン	22(5)	659-664	2002
久保裕男, 近藤清彦	鹿児島と八鹿の二大先進地域がメモリアル~難病ケアシステム構築の成果を確認~	難病と在宅ケア	8(6)	54-59	2002
近藤清彦	神経難病の在宅医療-公立病院の立場から-	医療	57(8)	514-520	2003
近藤清彦	ALSとともに-17年間の在宅人工呼吸療法の経験からわかったこと	日本ALS協会近畿ブロック会報	44	2-19	2003
近藤清彦	神経筋疾患の呼吸リハビリテーション-在宅生活へ向けて オーバービュー	Journal of clinical rehabilitation	13(7)	598-601	2004

## 雑誌

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
近藤清彦	公立八鹿病院における筋萎縮性側索硬化症(ALS)患者の在宅ケア	公立八鹿病院誌	13	1-10	2004
小松素明, 北山道朗, 新改拓郎, 近藤清彦	筋萎縮性側索硬化症(ALS)患者の呼吸管理—気管切開の時期に関する検討	公立八鹿病院誌	13	19-22	2004
清水哲郎	事例に学ぶシリーズ2004、パリアティブケアにおける臨床倫理、安楽死を希望する患者さん コメント	ターミナルケア	Vol.14 No.1	45-47	2004
清水哲郎	意識を下げること—鎮静—による緩和の倫理	現代医療	36-6	84-90	2004.6
清水哲郎	サイコオンコロジーと臨床倫理	臨床精神医学	33-5	519-523	2004.5
清水哲郎	臨床倫理検討システム最新版—			1-17	2004春
丸山公子, 布施裕子, 菊入末子, 清水哲郎	治療を自己決定できた高齢喉頭がん患者の一事例—臨床倫理検討シートを活用して—	『臨床倫理学』3(雑誌の編集・発行・執筆)		18-23	2004.3
清水哲郎	コミュニケーションとケアの倫理	『臨床倫理学』3(雑誌の編集・発行・執筆)		57-69	2004.3
清水哲郎	倫理原則をどう捉えるか—二重結果論VS相応性論	『臨床倫理学』3(雑誌の編集・発行・執筆)		70-79	2004.3
清水哲郎	コメント(山川真理子「安楽死を希望する患者さん」に対して)	ターミナルケア	14-1	45-47	2004.1
清水哲郎	臨床倫理	がん看護	10巻1号	59	2005.1
難波玲子, 今井尚志	ALS患者の緩和ケア	ターミナルケア	第12巻No.6	495-499	2002年
今井尚志, 難波玲子	ALS診療ガイドラインと告知について	ターミナルケア	第12巻No.4	301-304	2002年
難波玲子	ALSの在宅支援	難病と在宅ケア	第8巻No.4	41-45	2002年
難波玲子	ALS医療—緩和医療の視点から—	医療	第56巻No.6	350-351	2002年
難波玲子	神経難病(ALSを中心に)の緩和ケア—医師の立場から—	難病と在宅ケア	Vol.9, No.8	12-16	2003
難波玲子	神経難病(特にALS)の緩和ケア(1)ALS治療ガイドラインについて	ターミナルケア	Vol.14, Suppl	158-163	2004
西澤正豊	最近の研究情報 特集「脊髄小脳変性症の最新情報」	難病と在宅ケア	9(2)	7-9	2003
西澤正豊 他3名	遺伝性痙性対麻痺の遺伝子的研究	脳神経	55(9)	757-763	2003
西澤正豊 他1名	脳梁菲薄化を伴う遺伝性痙性対麻痺	脳神経	55(9)	765-770	2003
西澤正豊 他1名	脊髄小脳変性症の治療の試み	BIO Clinica	18(12)	24(1064)-27(1067)	2003
Nishizawa M.他7名	Identification of a SACS gene missense mutation in ARSACS.	Neurology	62(1)	107-109	2004



## 雑誌

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
Ogawa T, Takiyama Y, Sakoe K, Mori K, Namekawa M, Shimazaki H, Nakano I, <u>Nishizawa M</u>	Identification of a SACS gene missense mutation in ARSACS.	Neurology	62(1)	107-109	2004
Kanazawa M, Shimohata T, Terajima K, Onodera O, Tanaka K, Tsuji S, Okamoto K, <u>Nishizawa M</u> .	Quantitative evaluation of brainstem involvement in multiple system atrophy by diffusion-weighted MR imaging.	J Neurol	251(9)	1121-4	2004
Shimohata T, Kimura T, <u>Nishizawa M</u> , Onodera O, Tsuji S.	Five year follow up of a patient with spinal and bulbar muscular atrophy treated with leuprorelin.	J Neurol Neurosurg Psychiatry	75(8)	1206-7	2004
Date H, Igarashi S, Sano Y, Takahashi T, Takahashi T, Takano H, Tsuji S, <u>Nishizawa M</u> , Onodera O	The FHA domain of aprataxin interacts with the C-terminal region of XRCC1.	Biochem Biophys Res Commun	325(4):12	79-85	2004
Hara K, Onodera O, Endo M, Kondo H, Shiota H, Miki K, Tanimoto N, Kimura T, <u>Nishizawa M</u>	Sacsin-related autosomal recessive ataxia without prominent retinal myelinated fibers in Japan.	Mov Disord			2004 Oct 14; [Epub ahead of print]
下畑享良、小野寺理、本間義章、廣田紘一、布村仁一、木村哲也、河内 泉、三瓶一弘、 <u>西澤正豊</u> 、辻 省次	舞踏運動を呈した症例に対する分子遺伝学的解析	臨床神経	44	149-153	2004
春日健作、佐藤 晶、金澤雅人、小林 央、田中恵子、 <u>西澤正豊</u>	無症候性原発性胆汁性肝硬変を合併し、著明な呼吸筋障害を特徴とした慢性筋炎の1例	臨床神経	44	280-285	2004
下畑享良、中山秀章、篠田秀夫、小野寺理、 <u>西澤正豊</u>	多系統萎縮症の突然死の病態の解明、および治療法の確立を目指して	自律神経	41	161-166	2004
他田真理、成瀬聡、新井亜希、佐藤晶、田中恵子、朴月善、柿田明美、高橋均、 <u>西澤正豊</u> 、辻省次	重篤な多発性単ニューロパチーを呈し、C型肝炎ウイルス感染に関連した混合型クリオグロブリン血症をみとめた全身性血管炎の1剖検例	臨床神経	44(10)	686-690	2004
<u>西澤正豊</u>	常染色体劣性遺伝性脊髄小脳変性症の病態	日本医事新報	4169	108-109	2004
池内 健、 <u>西澤正豊</u>	痴呆	Molecular Medicine	41(臨時増刊号)	322-327	2004
他田正義、小野寺理、藤田信也、永井博子、 <u>西澤正豊</u>	Hypogonadismを伴う小脳失調症	神経内科	60	512-519	2004
<u>西澤正豊</u>	ALS患者さんのノーマライゼーション	日本ALS協会会報	61	28-30	2004
<u>西澤正豊</u>	パーキンソン病治療の展望	難病と在宅ケア	10	44-47	2004
<u>西澤正豊</u>	人工呼吸器の中止を巡って	難病と在宅ケア	Vol.10 No.11	27-31	2005
児玉知子、園田至人、 <u>福永秀敏</u>	筋萎縮性側索硬化症(ALS)の多面的評価	日本医事新報	4075	26~30	2002
<u>福永秀敏</u>	パーキンソン病患者のリハビリテーションと療養・看護	神経治療学	19	45~49	2002
<u>福永秀敏</u>	ALSのこれからの長期戦略	難病と在宅ケア	7	22~25	2002
<u>福永秀敏</u>	神経難病と訪問介護員	難病と在宅ケア	7	52~55	2002

## 雑誌

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
福永秀敏	在宅で中心静脈栄養を管理する日々	難病と在宅ケア	8	30	2002
福永秀敏	「病む人を学ぶ」を院是として	難病と在宅ケア	8	77	2002
福永秀敏	人に頼むということ	難病と在宅ケア	8	72	2003
福永秀敏	時には「ありがとう」の気持ちを表して	難病と在宅ケア	9	58	2003
福永秀敏	診断の難しさ	難病と在宅ケア	9	75	2003
福永秀敏	リハビリテーションと介護・介護保険	診断と治療	92	835	2004
福永秀敏	介護・リハビリテーション支援	日本臨床	62	1729	2004
福永秀敏	在宅ケア、4つの基本	居宅ケアサービス	1	93	2004
福永秀敏	重たい選択	居宅ケアサービス	1	74	2004
福永秀敏	カルピスの味	居宅ケアサービス	1	80	2004
福永秀敏、因利恵	ホームヘルパーの吸引行為はこれでいいのか(対談)	居宅ケアサービス	1	28	2004
小林量作、福原信義	在宅神経難病患のための住宅改造(21)、福祉用具。	難病と在宅ケア	7(10)	69-73	2002
高津由子、小林量作、福原信義	在宅神経難病患のための住宅改造(22)、住宅改修と福祉用具を利用するための社会資源。	難病と在宅ケア	7(11)	23-26	2002
福原信義	神経難病の生活の質(QOL)向上の工夫。	モダンフジヤン	22	665-669	2002
Date,H., Onodera,O., Tanaka,H., Iwabuchi,K., Uekawa,K., Igarashi,S., Koike,R., Hirioi,T., Yuasa,T., Awaya,Y., Sakai,T., Takahashi,T., Nagatomo,H., Sekijima,Y., Kawabuchi,I., Takiyama,Y., Nishizawa,M., Fukuhara,N., Saito,K., Sugano,S., Tsuji,S.	Early-onset ataxia with ocular motor apraxia and hypoalbuminemia is caused by mutations in a new HIT superfamily gene.	Nature Genet	29	184-188	2002
Koide,T., Nakajima,T., Makifuchi,T., Fukuhara,N.	Systemic mastocytosis and recurrent anaplastic shock.	Lancet	459(9323)	2084	2002
小林量作、福原信義	在宅神経難病患のための住宅改造(最終回)、住環境整備の目的とその効果。	難病と在宅ケア	7(12)	54-58	2002
巻淵隆夫、福原信義	眼球運動失行と低アルブミン血症を伴う早発型脊髄小脳失調症の病理。	神経内科	57	119-124	2002
Arai,A., Tanaka, K., Ikeuchi,T., Igarashi,S., Kobayashi,H., Asaka T., Date,H., Saito, M., Tanaka,H., Kawasaki,S., Uyama,E., Mizusawa,H., Fukuhara,N., Tsuji,S.	A novel mutation in the UDP-N acetylglucosamine 2-epimerase/N-acetylmannosamine kinase gene and a strong linkage disequilibrium in Japanese pedigrees with distal myopathy with rimmed vacuoles (Nonaka distal myopathy).	Ann.Neurol	52	516-519	2002

## 雑誌

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
Koide,T., Ohtake,H., Nakajima,T., Furukawa,H., Sakai,K., Kamei,H., Makifuchi,T., Fukuhara,N.	A patient with dementia with Lewy bodies and codon 232 mutation of PRNP.	Neurology	59	1619-1621	2002
袖山千恵子、村松林子、平野美鈴、二ノ宮正、山岸恵美子、山石とし江、黒崎みや子、北沢真喜子、小出隆司、中島孝、福原信義	プリオン遺伝子コドン232変位を持つ痴呆患者の看護と在宅指導についての経験。	医療	56	664-667	2002
白崎弘恵、石田千穂、中島孝、亀井啓史、小出隆司、福原信義	音声解析をもちいた脊髄小脳変性症の定量的機能評価について。Machado-Joseph病におけるtaltirelin hydrateの効果。	臨床神経	43	143-148	2003
福原信義	ミトコンドリアの脳筋症	脊椎脊髄ジャーナル	17	891-896	2004
堀川 楊	在宅医療と心身医療	日本心療内科学会誌	7	77-81	2003
Kiyomitsu Oyanagi, Kentaro Ogata, Shigeki Takeda, Yo Horikawa, Emiko Kawakami and Takashi Morita	Widespread vertebral and epidural venous plexus metastasis of prostatic cartinoma presenting wedge-shaped radial lesion in the spinal cord.	Neuropathology	23	296-300	2003
田中正美、堀川 楊	Atopic trigeminal neuropathyの可能性について	神経内科	60	687-688	2004
Nagata H., Mizushima H., Tanaka H	Concept and prototype of protein-ligand docking simulator with force feedback technology.	Bioinformatics	Vol.18 No.1	p.140-146	2002
Mizushima H, Ichikawa H, Ohki M.	ANALYSYS TOOL FOR FINDING TRANSCRIPTION REGULATORY ELEMENTS, USING TRANSCRIPTION FACTOR DATA BASE (TFDB).	Proceedings of the Third International Conference on Bioinformatics of Genome Regulation and Structure.	Vol.1	p.37-39	2002
辰巳 治之、明石 浩史、水島 洋、秋山 昌範、戸倉 一、田中 博	次世代のネットワーク技術：IPv6の医療応用の検討のために	医療とコンピュータ	Vol.13 No.1	p.25-33	2002
水島 洋	バイオインフォマティクスの創薬への応用	ヒューマンサイエンス	Vol.13 No.4	p.14-17	2002
辰巳 治之、戸倉 一、明石 浩史、大西 浩文、秋山 昌範、水島 洋、永田 宏、田中 博	IPv6の医療への展開	インナービジョン	Vol.17 No.7	p.34-40	2002
水島 洋	医療情報ネットワーク構築と医療情報とゲノム情報の融合	新医療	Vol.28 No8,	p.133-135	2002
水島 洋	ゲノム情報と医療情報	医療とコンピュータ	Vol.13 No.12	p.6-10	2002
水島 洋	転写制御機構解析のためのバイオインフォマティクス	ゲノム医学	Vol.3 No.1	p73-79	2003

## 雑誌

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
辰巳治之、戸倉一、明石浩史、大西浩文、秋山昌範、水島 洋、永田宏、穴水弘光、田中博	情報革命による医療ルネサンス	新医療			in Press
水島 洋	バイオインフォマティクス	IT医療白書	2003	p.36-38	2003
水島 洋	転写制御機構解析のためのバイオインフォマティクス	ゲノム医学	Vol.3 No.1	p73-79	2003
宮坂道夫	資源化の正義と物語の正義 -生命倫理学における正義論についての試論-	生命倫理	13号	168-174	2002
宮坂道夫	医療倫理学とは何か -「オープンネス」をキーワードとして-	日本放射線技師会雑誌	49(4)	322-327	2002
宮坂道夫	NBM (Narrative Based Medicine)	歯界展望	100(3)	610-611	2002
宮坂道夫	看護倫理への招待 -医療倫理学とは何か？	看護学生	50(1)	64-65	2002
宮坂道夫	看護倫理への招待 -医療倫理学の「思考の道具」(その1)	看護学生	50(2)	60-61	2002
宮坂道夫	看護倫理への招待 -医療倫理学の「思考の道具」(その2)	看護学生	50(3)	64-65	2002
宮坂道夫	看護倫理への招待 -医療倫理学の「思考の道具」(その3)	看護学生	50(4)	64-65	2002
宮坂道夫	看護倫理への招待 -死についての問題(その1)	看護学生	50(10)	64-65	2003
宮坂道夫	看護倫理への招待 -死についての問題(その2)	看護学生	50(11)	64-65	2003
宮坂道夫	看護倫理への招待 -死についての問題(その3)	看護学生	50(12)	60-61	2003
宮坂道夫	ALS医療についての倫理的検討の試み	医学哲学倫理	22号	59-68	2004
武藤香織	“舞蹈病”と舞蹈の邂逅	現代思想	32(14)	162-129	2004
武藤香織	遺伝とエンパワーメント 当事者団体の果たす役割	助産雑誌	59(2)	124-129	2005
武藤香織	医療と研究の資源としての家族:ポスト・ゲノムの時代に	季刊 家計経済研究	62	30-36	2004
武藤香織	「知らないでいる権利」を行使するために	科学	74(5)	641-644	2004
山内豊明	バイタルサインの意味するもの-フィジカルアセスメントとの関連で	Nursing Today	16巻12号	140-147	2001
三笠里香, 山内豊明	血圧測定時における手技に関する実証的研究-水銀血圧計の位置について	看護教育	42巻11号	998-1001	2001
Yamauchi, T.	Correlation between work experiences and competencies for physical assessment in Japan.	Nursing and Health Sciences	3巻4号	213-224	2001